

仮称「霧島国際カントリークラブ造成工事」に伴う防災工事説明会時に出された要望に対する対応状況について

平成 25 年 4 月 29 日 (月) に入水公民館で開催された標記説明会時に、参加者から霧島市に要望 (確認) された事項について、下記のとおり現時点の対応状況を報告します。

- ① 松田武清氏宅付近の橋にコンクリートが流されて引っかかっている。
→5月1日の午後3時過ぎに、松田俊則氏に案内してもらって現地を確認する。
- ② 手籠川に淵脇章公氏宅付近から下流にかけて土砂が堆積している。
→5月7日の午後2時半過ぎに、淵脇章公氏付近の橋から下流の橋までの間の寄り洲の状況を確認する。
- ③ 平成 22 年 7 月 3 日災害箇所 (淵脇フヂ工氏の水田) をトンネル工事とは切り離して早めに復旧してほしい。
→5月7日の午後2時過ぎに、現地を確認する。
- ④ 手籠川の川筋直しについては、水利権者を交えてきちんと説明してほしい。
→地元説明会は当然のことと認識している。隧道開削については、具体的な整備計画の情報が流れてきていないので、県 (始良伊佐地域振興局) に確認したい。

★①、②、③については、霧島総合支所産業建設課の岩元課長、貴島、丸山で現地を確認し、写真等を添えて5月9日午前中に霧島市役所土木課河川港湾グループに報告し、河川管理者である始良・伊佐地域振興局に要望してもらおうようお願いした。※特に、①、③については、昨年8月の平成 25 年度河川等防災事業の要望調査等も含めてこれまでに何回も県に要望し現地も見てもらっているが、要望が反映されていない状況である。

要望事項に対して素早く動いていただいたことは評価できます。
しかしながら、要望が実現するかはしっかり見なければなりません。
中村満雄